

木曾ペインティングス

取組に至る背景・事業の目的

- 木曾地域は観光地としては来訪者が減少傾向にあるので、イベントにより観光客の増加や中山道など地域資源の活用に繋げたい。
- 中山道の間地点でアーティストを招致して行う芸術活動により、新たな木曾の観光地や移住地としての魅力を生み出す。また、アーティストが企画するワークショップの開催や地域住民との共同作業により、世代や文化を越えた交流を生み、暮らしの楽しみを増やし、新しい地域文化として根付かせたい。
- 地域の子どもたちが一線で活躍するアーティストから美術を学ぶ機会を作り、美術が身近な存在となり、視野の広い寛容な心を育みたい。
- 地域に眠る自然資源を発掘し、持続可能な絵画の在り方について模索する。

事業内容

- 全国からアーティストや美術を学ぶ学生が集まり、木曾を題材に滞在制作し展覧会を行った。作品の素材も地域資源を活用した。
- 定期的に美術作家を招き、地域住民向けにワークショップを行った。日義小学校生徒とは複数回の課外授業を通じて土地の持つ歴史“旗挙げ”の準備、開催に取り組んだ。
- 展覧会のテーマ“けものみち”に因んだ映画「アルビノの木」上映会と監督のトークイベントを開催した。
- 参加型イベントでは多くの出店者が集い、参加者自らパフォーマンスやライブイベントを行った。
- 地域企業とコラボレーションし、オリジナルポスターや商品ラベルを共同作成した。



【 “旗挙げ”の様子 】

事業効果

- 展覧会では展示作品を購入したいとの問い合わせ等があり、美術への興味や関心の高さが伺えた。
- 学校の授業枠を使った課外授業として、また地域公民館分館との共催のワークショップを開催することで、対象を絞り内容を充実させた。
- 空き家を展示会場として利用するなど、新しい空き家活用の道を示した。
- 映画や展示等を通じ、地域住民が自分たちの地域が抱える問題について考えるきっかけとなった。
- 地域企業とのコラボレーションを継続的に行ってきたことで地域からの協力を得られた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 地域内の宿泊施設が少なかったが、旅情庵(木曾町)と良好な相互関係を築き、招致アーティストの滞在場所と出来た。
- 住民ボランティアを増やし、アーティストが更に地域と関わりながら活動が出来るよう取り組みたい。
- アーティスト夫婦の、滞在先から制作場所までの移動手段が無いのが今後も課題となる。
- 次年度も地域の問題をテーマに展覧会イベントを同時期に行う。

【選定のポイント】

様々な所で地域住民が作品に触れ、作家と交流した。特に地元小学生が地域を舞台として芸術に触れる良い機会となった。さらに、空家を会場とする新しい活用の道を示した。引き続き住民を巻き込み、長期継続的に活動を定着させていくことが期待される。

団体名	木曾ペインティングス実行委員会（木曾町）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	050-3700-5277	事業費	1,624,683円
	kisopaintings@gmail.com	支援金額	1,283,000円
ホームページ	https://www.kisopaintings.com		